

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	環境振動測定分析小委員会	主 査 名：小谷 朋央貴 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境振動運営委員会)	委員長名：羽山 広文 主 査 名：国松 直
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	環境振動に関する測定手法について多くの測定事例を収集し、測定分析方法の体系化を目指す。その成果は広く会員に展開し、居住性の向上に寄与することが本小委員会設置の目的である。 ・2015 年度 測定マニュアル検討WG 設置 (環境振動測定経験者へのアンケート結果の分析)、共同実験場所の決定など ・2016 年度 共同実験及び分析実施、測定分析マニュアル案作成 (WG) ・2017 年度 測定分析マニュアル公開 (シンポジウム等) ・2018 年度 測定分析マニュアル更新、3 年間のまとめ	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：小谷朋央貴 (フジタ) 幹事：尻無濱昭三 (鉄建建設) 委員：足立大 (リオン)、石橋敏久、伊積康彦 (鉄道総研)、神谷俊行 (ベネック振動音響研究所)、佐野泰之 (愛知工大)、富田隆太 (日本大学)、原田浩之 (三井住友建設)、平松和嗣、平光厚雄 (国土技術政策総合研究所)、松田 貫 (大和ハウス工業)、森川和彦 (清水建設)、藪下満 (YAB 建築・音響設計)、横島潤紀 (神奈川県)	
設置 WG (WG 名：目的)	測定分析マニュアル検討 WG	
2015 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価		
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)		
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1.		
講習会	1.	参加者数	名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	2.	参加者数	名
大会研究集会	3.	参加者数	名
対外的意見表明・パブリックコメント等	1.		
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 環境振動測定経験者へのアンケート結果の分析 (WG) 実施 2. 今までの環境振動測定結果を学会大会及び技術報告集投稿 3. 環境振動の共同実験の実施		
委員会活動の問題点・課題	1. 2. 3.		

2015 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A B C D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	1. 木造家屋の環境振動測定として自動車走行振動と鉄道振動の事例をまとめて、建築学会大会OSに投稿した。 2. 「測定分析マニュアル検討WG」を設置し、環境振動測定経験者に対するアンケート結果を分析し、その一部分について技術報告集に投稿した。 3. 「木造住宅を対象とした振動測定事例」、「建築物の振動測定に関するアンケート調査結果―測定・分析・評価方法の現状と課題―」の2編を日本音響学会騒音振動研究会に投稿した。 4. 環境振動測定についての実務者アンケート調査結果をまとめて2編を技術報告集に投稿した。 5. つくばの実験住宅において、道路交通振動などの振動測定を実施した。

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。